

防災寺子屋を杉並・高井戸東小学校で開催しました。



東京都杉並区立高井戸東小学校で2月7日、4年生2クラス約50人の児童を対象に、防災検定協会が防災教育の一環として行っている出前授業「防災寺子屋」を開催。平野理事長の「いなむらの火」や「災害がもたらした絆 日本

とトルコ」などの語りと、濱口事務局長の講演などの内容で、子ども達は真剣に聞き入っていました。

平野理事長は語りと解説を通して、災害には、日頃からの備え、住民の協力、リーダーの迅速な指示・対応がいかに大切かを伝えました。また濱口事務局長は講演で、いかに身の安全を守るか、歴史上の災害から学ぶ大切さなど、写真やデータなどを提示しながら解説。そして家に帰ってから家族と我が家の防災について話し合うことを宿題にしました。その時に大切な3つの備えは「いのちを守る」「大きなケガをしない」「当座の生活に困らない」であるとまとめました。

これは「総合的な学習の時間」として午後から2時限をあてたもの。同校の4年生は毎年1学期の社会科見学として立川防災センターで地震や火災などの学習を体験しているため、この日の講演内容も一段と理解が深まったようです。

